



9月イベント紹介



村田だより 9月

「災害体験VR（＝仮想現実）」機器

山口県防災危機管理課から地震・津波・

風水害といった自然災害を、実際にその場の空間にいるような感覚で体験することが出来る「災害体験VR（＝仮想現実）」機器（災害体験VRコンテンツ入りヘッドマウントディスプレイ）を借り、各自が視聴しました。このことにより、自然災害への対策として、社員一人ひとりの防災意識を高めることが出来たと考えています。以下、各自の感想を載せます。

社長：津波体験以外はその程度全方向で臨場感があり短いながらも有意義な研修内容でした。どの災害も恐ろしいですが、もし遭遇したらどのような対応が出来るだろうかと考えながら体験しました。実際の災害に遇わないのが一番ですが、VR視聴してイメージがつかめ、被災しても「死ぬ気がしない」「自信がきました」！

権代：災害体験VRを見て、現実の災害に会ったような感じがして、津波は思わず体が漂流物を避けていますが、実際はその様な事が出来るわけなく、安全な場所に早く避難しなければいけないという事が解りました。体験をすることで、あそびがうい、あそびました。

村田株式会社
TEL 0835-22-3205



福原：大地震からの津波、大雨による浸水がとてもリアルに体験出来ました。押し寄せてくると逃げ場がなくなるので日頃から準備したためわずらわず即避難しなければ助からないと思いました。5分程度の視聴でしたが、テレビで見ると、よ

り身近に危険を感じることが出来る貴重な体験でした。あそびがうい、あそびました。

橋本：地震、津波、風水害のVR体験。地震発生→津波到着の早さに驚きました。ただただ怖かったです。どうしようも考えている間に飲み込まれてしまいました。テレビの映像と体験ではまた違った見方が出来ました。日頃からの備え、避難場所の確認、連絡方法等を再確認する必要があると改めて感じました



桑原：自然災害の恐ろしさはメディア報道で知ったつもりになっていましたが、リアリティのあるVR体験で改めてその恐ろしさを感じました。特に津波や風水害など水の力の凄まじさを目の当たりにして、巻き込まれる前に速やかに避難するの大切さを学びました。



藤村：今まで、大きな災害に出くわした事はありませんでしたが、VR体験を通して本当に危険なのだと改めて感じました。津波では、あつという間に逃げ道を塞がれ、木や車などの障害物が流れくるので、怖いと感じました。大きな災害がない事が一番ですが、自分の身は自分で守れるように対策をしていきたいと思

います。南海トラフ地震が現実味を帯びてきた今、VR体験が出来て良かったです。

西山：家の家具が散乱し、その後電気の断線と天井が崩壊しました。また水害の映像がかなりの印象に残りました。窓が割れて水が浸入してくる様子や水流に押し流され巨大な流木が迫って来た時はかなり驚きました。

小川：映像がとてもリアルで、本当に自然災害の被害にあっているような恐怖を感じました。地震が起きて物が倒れてきたり、津波が起きて車や木が流れて来たりした時は、思わず悲鳴を上げてしまいました。実際に自然災害が起きた時はこれ以上の恐怖を感じると思うので、普段からしっかりと備えておきたいと思

～編集後記 桑原～

スタンドバーレイ Carpe・Diem がオープンして9月18日めでたく1周年を迎えました。沢山のお客様にご愛顧いただき感謝の気持ちでいっぱいです。お客様に Carpe・Diem な（ラテン語で「今この瞬間を楽しめ」の意）時間を楽しんでいただくために引き続き精進していきます。月代わりの美味しいカクテルで精一杯のおもてなしをさせていただきますので、ご来店を心よりお待ちしております。次回の営業日は10月25日（金）の予定です。よろしくお願い致します。

VIDeN 公式LINE アカウント

お得な情報を受け取るには

QRコードをスキャンして

「友だち追加」よろしく

お願いします！

